

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

横浜市上大岡東保育園

横浜市港南区上大岡東 1-18-18

運営主体：横浜市

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類・項目別評価結果	6～17 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	18～24 ページ
利用者本人調査分析	25～27 ページ
事業者コメント	28 ページ

2012年3月26日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	横浜市上大岡東保育園（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2012年2月22日	評価に要した期間	5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2011年10月1日～2011年11月15日</p>	<p>保育士一人ひとりが評価項目について読み込み、全体会議やミーティングの中で勉強会の時間を設け、工夫事例や課題などについて全員が意見をあげ、その後各自で記入した。</p> <p>第三者評価担当の職員がリーダーとなり、評価領域ごとにグループを作りKJ法で意見を集約し確認を行った。</p> <p>第三者評価担当職員、主任、園長で協議し、合意の上まとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2011年11月1日～2011年11月15日</p>	<p>全園児の保護者（73世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 2011年12月21日 第2日 2012年1月6日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：2歳児クラス、幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、調理2名、アルバイト職員1名、福祉員1名、主任に個別に面接調査。その後、園長・主任に面接調査。最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 2011年12月21日 第2日 2012年1月6日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

横浜市上大岡東保育園は京浜急行線または横浜市営地下鉄ブルーラインの「上大岡」駅東口より坂を10分ほどあがった所にあります。周辺は住宅やマンションが立ち並び、緑の多い静かな住宅地となっていて、晴れた日には富士山を臨むことができます。

園は1970年8月に大岡保育園として横浜市によって南区に開設され、1988年に現住所に移転・改築し上大岡東保育園となりました。鉄筋コンクリート造2階建ての1階部分を園舎として用いていて、2階は地域の集会室(上大岡東保育園集会室)となっています。園舎は内装に木材が多く用いられ、採光がよく、あたたかく明るい印象となっています。園舎に沿った、横に細長い園庭は幼児用と乳児用に分けられ、幼児用では子どもたちがリレーやドッジボールを楽しんでいます。園庭の隅では野菜や花が育てられ、夏にはプール遊びをすることができます。

定員は82名(0歳～5歳)、開園時間は平日7時～19時、土曜日7時30分～15時15分(長時間、時間延長サービスを含む)です。

保育の基本方針として「子どもや保護者が安心して過ごせる環境づくりをする」「職員同士の相互理解に努め、連携を密にする」「園内外の研修に積極的に取り組み、向上心を持って保育にあたる」「地域に開かれた保育所を目指す」、園目標として「元気に楽しく遊ぶ子ども」「好奇心いっぱいの子どもの」「心と体で感じる子ども」「自分もみんなも好きな子ども」を掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは元気に楽しく、健やかな毎日を過ごしています

子どもたちは、保育士の見守りのもと、元気にのびのびと毎日を過ごしています。

園庭で元気に走り回ったり、ホールでリズム運動をしたり等、子どもたちは身体を思いっきり動かしています。身体を動かしている時の子どもたちの表情はとても豊かで、本当に楽しそうです。

乳児は、一人ひとりのペースにあわせゆったりと対応してもらっています。保育士にたくさん話しかけられ、一つずつ意思を確認してもらい、自分の思いを言葉や表情で表すことができるよう支援されています。

幼児は、ドッジボールやゲームなど人との関わりを楽しむことができます。友だちと話し合っ、やりたいことやルールを決めることができます。決め事やルールをきちんと理解し、集団での活動をすることができます。

また、異年齢の交流も盛んで、保育士の働きかけもあり、年下の子どもは自分より年上の子どもたちを尊敬のまなざしで見つめ、真似をし、年上の子どもは自分より小さな子どもを自然にいたわるという関係が育っています。お手本を示す時の年長児の表情は誇らしげで、自信に満ちています。

このように、子どもたちは元気に楽しく遊びや生活を通して多くのことを得ていて、園目標が実現されています。

2、保育士は向上心をもって保育に取り組んでいます

保育士は一人ひとりの子どもの気持ちを大切に、連携して保育にあたっています。

毎日の引き継ぎやミーティングで子どもの様子や配慮すべきこと、課題などを共有し、保育士全体が共通の認識を持って保育にあたるようにしています。保育の現場においても、絶えず声をかけあい、

お互いの位置を確認しあい連携しています。非常勤保育士に対しても、福祉員会議、アルバイト会議を月2回開催し、情報を共有しています。園長・主任は絶えず保育の現場を回り、必要に応じて確認、アドバイスをするとともに、円滑に業務に当たれるようコミュニケーションを図っています。

保育士は日常の保育や行事の後などに、自分の保育を絶えず振り返り課題を抽出するとともに、職員会議などで話し合い、より良い保育の実現に向け改善に努めています。また、園内外の研修にも積極的に参加し、技術の向上や自己研鑽に努めています。外部研修に参加した保育士は職員会議やミーティングにおいて報告を行い、全職員で学習し、日頃の保育に活かしています。

このように、保育士は、園長・主任のリーダーシップのもと、向上心を持ってより良い保育に向かい一丸となって取り組んでいて、保育士という仕事に対する意識の高さがうかがえます。

3、子育て支援のために欠かせない施設として地域に根付いています

園では地域の子育て支援に積極的に取り組んでいます。

園庭開放（月～土） 絵本の貸し出し（月～金） 保育園プチ体験（年18回）、交流保育（年17回） 「絵本の読み聞かせ&ママ友サロン」（年10回） プール開放（年8回） 育児講座（年6回）など数多くの子育て支援事業を実施しています。また、港南中央地域ケアプラザ主催の「ママのしゃべり場・こどものあそび場」に保育士が参加し遊びを提供しています。他にも、地域のボランティア活動や地域集会室での子育て支援事業にも協力しています。地域の親子に向けての育児相談にも園長や子育て支援担当保育士が随時応じています。

これらの事業には毎回多くの地域の親子連れが参加しており、リピーターも多くいます。特に園庭開放は晴れた日には毎日利用者があり、平成22年度は延べ600人近くが参加しました。

このような取り組みの結果、園は子育て支援のために欠かせない施設として、地域に根付いています。

独自に取り組んでいる点

1、幼保小の連携に力をいれています

上大岡東保育園では、幼保小連携事業に力を入れて取り組んでいます。

特に小学校との交流は盛んで、保育園児と小学生の全学年が交流を行っています。また、小学校教員が園を訪れ保育参観や懇談会に参加したり、保育士が授業参観に出向いたり等、園と小学校で情報交換をし合い、保育士・教員間の交流も盛んです。

その他、近隣の保育園、幼稚園との交流も行っていて、小学校の校庭を借りてのリレー大会（年1回）や4園合同で公園でダンスや遊びを一緒に行う（月1回）保育交流なども行っています。

園では昨年度より、幼保小連携事業で、幼児教育と小学校教育を滑らかにつなぐ接続の観点から、横浜市こども青少年局による接続期研究を基に地域の幼稚園1園と民間保育園1園、小学校1校と共に上大岡地区の「アプローチカリキュラム」を作成し、実践を行っています。その内容を平成23年11月の「全国保育研究大会」で担当保育士が発表しました。

アプローチカリキュラムは、既に園の保育の現場で実践されています。子どもたちの興味・関心を豊かに広げ、仲間と協同性を育む活動の一つとして「ザリガニ祭り」を行いました。このような実体験を基に遊びを広げることで「遊びを通した学び」の充実が図られています。

評価領域ごとの特記事項

2007 (H19) 年 4 月以降～版

このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・保育方針として「子どもや保護者が安心して過ごせる環境づくりをする」「職員同士の相互理解に努め、連携を密にする」「園内外の研修に積極的に取り組み、向上心をもって保育にあたる」「地域に開かれた施設を目指す」を掲げ、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・保育士は子どもに急かすことや強要はせず、穏やかに分かりやすい言葉で話しています。
- ・個人情報や保育中に撮る写真の扱いについては、保護者総会と懇談会で保護者に説明するとともに、一人ひとりの保護者から了承を得ています。
- ・虐待防止マニュアル、「保育所における虐待防止のためのチェックシート」を用い、全職員に虐待の定義と早期発見について周知しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合には、港南福祉保健センターや南部児童相談所、南部地域療育センター等に通告、相談したり、連携したりする体制を整えています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・畳や間仕切りを用い、食べる・寝るの機能別空間を確保しています。なお、4、5歳児及び3歳児の1月以降は午睡にホールを用いています。
- ・子どもの発想から、飼育しているザリガニの歌を作ったり、製作活動や行事につなげたりして、子どもの思いや発想を大切に集団活動に取り入れています。
- ・「ひがしっ子の日」として、幼児クラスで縦割りグループでのクラスをつくり、異年齢で活動する機会を設けています。また、5歳児が乳児の着替えの手伝いをするなど、日頃から異年齢が交流しています。
- ・雨が降っていなければ必ず、園庭での遊びや園周辺の公園への散歩など、屋外活動を取り入れています。
- ・2歳児から野菜を洗って調理室に届けて食に親しむ機会を作っています。幼児クラスでは、芋ほりや野菜の収穫、野菜の皮むき、切干大根や白玉団子作りなど様々な食育活動を取り入れています。
- ・献立は旬の食材を使った、季節感が感じられるものとなっています。
- ・野菜は必ず加熱処理をし、食器は強化磁器のものを使用し、調理師は「安心、安全、おいしい」を大切に食材や食器の安全性に配慮しています。
- ・他の幼稚園や保育園の子どもと散歩で出会った時には、挨拶や一緒に遊ぶなどを行っています。地域の3つの園の子どもと幼児クラスの子どもが、公園でダンスや遊びを一緒にして交流しています。
- ・地域の公園愛護会の人と一緒に、子どもたちが花の苗植えや公園の清掃をしています。また、散歩で使う公園のごみ拾いを子どもたちがしています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・保育課程は、子どもの最善の利益を第一義として、保育理念や保育方針に基づき、長時間保育などの家庭の状況や地域の実態、周囲の環境なども考慮して作成しています。
- ・保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成しています。子どもたちの豊かな発想をもとに自分たちの物語をり、それをお楽しみ会の劇ごっこに発展させるなど、子どもの声や想いを取り入れ、子どもの自主性や主体性を育て発揮できるような指導計画となっていて、計画には柔軟性をもたせています。
- ・子どもの発達や状況に応じて、年間指導計画、月間指導計画の作成、評価、見直しを行っています。毎月のカリキュラム会議で全職員で子どもの発達や状況について話し合い、計画の評価、改訂を行っています。
- ・上大岡小学校を中心とした幼保小連携事業において、小学校への接続期カリキュラムとして「アプローチカリキュラム」を作成し、保育の現場で実践し、小学校への円滑な移行を支援しています。
- ・障がいのある子どもとその他の子どもが自然な形で接することができるよう、座席の位置や活動のペアの組み方等に配慮しています。また、手話の歌を取り入れるなどの取り組みを行っています。
- ・文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。外国人の保護者には、懇談会などに通訳ボランティアを頼むなど、対応しています。

- ・第三者委員を定めていて、園内に氏名・連絡先を掲示するとともに「保育園のご案内」「上大岡東保育園のしおり」において保護者に周知しています。
- ・健康管理マニュアル、衛生管理マニュアル、安全管理に関するマニュアルなどの各種マニュアルが完備しています。防災に関しては「港南区保育所班マニュアル」「保育所震災対策ガイドライン」を活用しています。
- ・保護者の自主的な活動として保護者会があり、保護者総会に園長が出席しての意見交換や、保護者会との連携活動の打ち合わせなどを通して連携しています。
- ・園の保育方針について、入園説明会や懇談会で保護者に説明する機会を設けています。

4、地域との交流・連携

- ・子育て支援として、園庭開放、絵本の貸し出し、保育園プチ体験、交流保育、「絵本の読み聞かせ&ママ友サロン」、プール開放を実施しています。また、港南中央地域ケアプラザ主催の「ママのしゃべり場・こどもの遊び場」にボランティア講師として保育士が参加しています。
- ・地域住民による公園遊びや子育てサロンに職員と子どもたちが参加しています。また、港南区主催の東部エリアの公民の保育園による育児支援イベント「あそびにおいでよ！こどもフェスティバル・春」に参加しています。
- ・地域の親子に向けて、園で保育士や調理員による育児講座を行っています。また、他の保育園と合同で育児講座「おやこでエクササイズ」を開催しています。
- ・地域の親子を対象にした育児相談は随時実施しています。園長や育児支援担当職員、保育士が面接や電話で応じています。
- ・幼保小連携事業として、5歳児が小学校を訪れ給食体験や学校体験をしたり、入学式の翌日に保育士が小学校を訪問し1年生への遊び提供を行うなど、入学間もない子どもたちが安心して小学校生活を送るための援助を行っています。
- ・中学生・高校生の体験学習とボランティアを、多数受け入れています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・「横浜市職員行動基準ハンドブック」「新公立保育所アクションプラン」に組織および職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化されていて、職員に周知しています。また、園長が毎年コンプライアンス研修を受講し、園内研修にて確認、周知しています。
- ・ごみの分別を行うとともに、空き容器を教材として利用するなど、ごみの減量化、リサイクルに努めています。給食の生ごみを肥料としてリサイクルしています。また、電気や水道の近くに、省エネや節水の表示をして、意識づけをしています。
- ・行事の実行委員会や食育会議、第三者評価など職種をこえてチームを編成し取り組んでいます。
- ・要支援家庭や待機児童の増加等の地域のニーズに対応するため、子育て支援事業を強化したり、定員外入所の受け入れを行うなど、運営面での重要な改善課題について保育所全体で取り組んでいます。

6、職員の資質向上の促進

- ・年度始めに園長が職員に事業計画書（行動計画書）を見せ、それに基づき園長面談において個々の職員が年度目標を設定し、具体的な取り組み事項を自己申告書に記載しています。中間期及び年度末において振り返り面談を行い、達成度の評価を行っています。
- ・職員は、港南区や横浜市子ども青少年局、白峰学園保育センター、南部地域療育センター等の研修に積極的に参加しています。外部研修に参加した職員は、研修報告書を提出するとともに、職員会議やミーティングで報告しています。
- ・月2回のアルバイト会議、福祉員会議において、情報共有を図るとともに、内部研修を実施しています。
- ・年間指導計画書、月間指導計画書、保育日誌には一人ひとりが自己の実践の振り返りができるよう、自己評価を記載する欄が設けられています。また、異年齢交流や行事などについても、振り返りを行い記録を取っています。振り返りは計画で意図したねらいと関連付けて行われていて、子どもの育ちや意欲、取り組む課程などが丁寧に記載されており、その後の改善につなげています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念として「一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通して福祉を積極的に増進するように努める」、保育方針として「子どもや保護者が安心して過ごせる環境づくりをする」「職員同士の相互理解に努め、連携を密にする」「園内外の研修に積極的に取り組み、向上心をもって保育にあたる」「地域に開かれた施設を目指す」を掲げていて、利用者本人を尊重したものとなっています。 ・保育理念、保育方針に基づき、園目標を「元気に楽しく遊ぶ子ども」「好奇心いっぱいの子どもの」「心と体で感じる子ども」「自分もみんなも好きな子ども」、保育姿勢を「子ども一人ひとりのありのままを愛する」「一緒に楽しく遊び、子ども同士の関わりを深めていく」「子どもの成長、発達のために家庭と協力し合う」「地域のニーズに応えられるような子育て支援をしていく」と具体的に分かりやすく定めています。 ・保育理念、保育方針、園目標、保育姿勢を玄関、事務室、保育室に掲示し保護者や職員に周知しています。 ・保育課程は子どもの最善の利益を第一義に、保育理念や保育方針に基づき、長時間保育が多いという家庭の状況や地域の実態、周囲の環境なども考慮して作成しています。 ・保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成しています。保育士は子どもの話に耳を傾け、子どもの要望・意見を聞いています。また、言語化できない子どもに対しては、子どもの目線にたって、表情やしぐさ、態度での要望・意見を受け止めています。 ・子どもたちの豊かな発想をもとに自分たちの物語を作り、それをお楽しみ会の劇ごっこに発展させるなど、子どもの声や想いを取り入れ、子どもの自主性や主体性を育み発揮できるような指導計画になっていて、計画には柔軟性をもたせています。

- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・入園時に保護者に「入園にあたって」・入園面接票、児童票、児童健康台帳などに記入してもらい、成育歴や家庭での状況など必要な情報を把握するとともに、入園前に園長・主任・乳児担当職員・幼児担当職員が保護者に面接しています。把握した情報は記録され、新年度初めの職員会議において職員間で共有し、日々の保育に活かされています。
- ・0、1、2歳児クラスにおいては一人ひとりの子どもを主に担当する保育士が決まっています。
- ・0～2歳児は毎日、3～5歳児は必要に応じて連絡ノートを用いて保護者と連携しています。また、3～5歳児は毎日クラスノートで日々の保育内容を伝えていきます。
- ・子どもの発達や状況に応じて、年間指導計画、月間指導計画を作成、評価、見直しを行っています。毎月のカリキュラム会議において全職員で子どもの発達や状況について話し合い、計画の評価、改訂を行っています。

- 3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・掃除ルーション表で清掃漏れがないよう担当を決め、保育園の園内・外とも常に清潔に保たれています。
- ・保育室の開口部は大きく、採光を充分に取り入れることができます。
- ・乳児、幼児、屋外に温水シャワーの設備があります。シャワー、シンクは清掃が行き届き、清潔に保たれています。
- ・畳や間仕切りを用い、食べる・寝るの機能別空間を確保しています。なお、4、5歳児及び3歳児の1月以降は午睡にホールを用いています。
- ・玄関ホールや廊下に絵本や玩具が置いてあり、異年齢児が触れ合うことができます。また、ホールを異年齢児交流やリズム運動等に用いています。

- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・0、1、2歳児については個別指導計画を作成しています。幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。
- ・毎月のカリキュラム会議において子どもの発達や状況について話し合い、目標、計画を見直しています。また、子どもの発達に応じ柔軟に変更、見直しを行っています。
- ・小学校進学時には、保育所児童保育要録を小学校に送付しています。
- ・子どもや家庭の状況・要望は児童票など決められた書式に保護者に記入してもらっています。また、入園後の子どもの成長は経過記録に記録されています。子どもの記録は事務室の施錠できる書庫に保管し、職員は必要な時に事務室で見ることができます。
- ・上大岡小学校を中心とした幼保小連携事業で、小学校への接続期カリキュラムとして上大岡地区の「アプローチカリキュラム」を作成し、保育の現場で実践し、小学校への円滑な移行を支援しています。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。
- (4)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。
- ・障がい児保育などの外部研修を受講した職員は研修報告書を提出するとともに、職員会議やミーティングで報告し、情報共有するとともに、保育の現場で生かしています。
- ・園内はバリアフリーになっています。
- ・年2回南部地域療育センターの巡回相談にて、保護者の同意を得て、助言や情報を得ることができます。また、市の看護師の助言を受けています。
- ・障がいの特性を考慮した個別指導計画が立てられています。
- ・障がいのある子どもとその他の子どもが自然な形で接することができるよう、座席の位置や活動のペアの組み方等に配慮しています。また、手話の歌を取り入れるなどの取り組みを行っています。観察時にも、障がいがある子どもの遊びをその他の子どもがさりげなく手助けする場面が見うけられました。
- ・虐待防止マニュアル、「保育所における虐待防止のためのチェックシート」を用い、全職員に虐待の定義、虐待の早期発見について周知しています。
- ・虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合には、港南福祉保健センターや南部児童相談所、南部地域療育センター等に通告、相談したり、連携したりする体制を整えています。また、必要に応じて、地域のボランティアグループや支援グループと連携しています。
- ・食物アレルギー児に対しては、月に1回、保護者、園長、調理、担任が面談し、翌月のメニューの除去食、代替食について確認しています。除去食、代替食についての情報は職員会議、カリキュラム会議において職員間の共通理解を図っています。また、翌日の除去食についてホワイトボードに記載し事務室に掲示するとともに、毎日のミーティングにおいて全職員で情報共有し、誤食事故防止に努めています。
- ・文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。外国人の保護者には、懇談会などに通訳ボランティアを頼むなど、対応しています。

- 6 苦情解決体制



- (1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・要望や苦情を受け付け、対応するためのマニュアルがあります。苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者は主任と定め、園内に掲示するとともに、「保育園のご案内」において保護者に周知しています。
- ・第三者委員を定めていて、園内に氏名・連絡先を掲示するとともに「保育園のご案内」「上大岡東保育園のしおり」において保護者に周知しています。
- ・意見箱を事務所に置いています。また、懇談会、行事後のアンケートで保護者の感想、要望、意見を聞いています。
- ・年3~4回、港南区役所や保育園にて、第三者委員と懇談しています。
- ・園独自で解決が困難な場合には港南区役所と連携する体制ができています。
- ・要望、苦情については、職員会議、ミーティングで全職員に周知しています。要望、苦情はファイルされ、解決に活かしています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 257 472 293">- 1 保育内容[遊び]</p> <div data-bbox="196 342 472 421" style="text-align: center;">  </div> <p data-bbox="119 441 557 557">(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p data-bbox="119 573 557 645">(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="119 660 557 777">(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p data-bbox="119 792 557 909">(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p data-bbox="119 925 557 996">(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="119 1012 557 1084">(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさや素材の違う積み木やボールなど、年齢と発達にふさわしいおもちゃや教材を用意しています。保育室のおもちゃや絵本は、子どもの発達や興味、関心、季節に合わせて入れ替えています。 ・保育室は敷物や仕切りでコーナー作りをして、子どもが少人数で落ち着いて遊び込めるような環境作りをしています。玄関ホールには絵本棚やテーブル、イス、敷物でスペース作りをし、子どもが自分で絵本を取り出して落ち着いて読めるようにしています。 ・子どもの発想から、飼育しているザリガニの歌を作ったり、製作活動や行事につなげたりして、子どもの想いや発想を大切に集団活動に取り入れています。 ・それぞれの子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間を、一日を通して十分にとっています。子どもたちはブロックや積み木、カルタやすごろく、ごっこ遊びなどをグループやひとりで自由に、それぞれが好きなことを選んで遊んでいます。 ・お話し会や食育活動、リズム運動、礼儀作法教室（5歳児）などの活動を取り入れています。 ・ゴーヤやさつまいも、白菜、カリフラワーなど季節の野菜を園の花壇やプランターで栽培しています。土作りや苗の植え付け、水やり、収穫などの体験を通して、子どもたちが植物を育てる喜びを知るとともに、見る、触る、嗅ぐなど五感で感じる機会にしています。また、育てた野菜を用いて、調理活動に発展させることで食育につなげています。 ・幼児クラスでカブトムシやクワガタ、ザリガニなどを飼育し、子どもたちが世話をしています。昆虫は卵から飼育し、継続して世話をするようにして、命のつながりや大切さを考えられるようにしています。 ・「ひがしっ子の日」として、幼児クラスで縦割りグループでのクラスをつくり、異年齢で活動する機会を設けています。夏季には異年齢の合同保育を取り入れ、活動や給食、午睡も異年齢で一緒に過ごしています。また、幼児クラス合同のリズム運動や、5歳児の乳児の着替え手伝い、1、2歳児の合同保育など日頃から異年齢が交流しています。 ・職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣いで子どもに接し、信頼関係を築いています。子どもと話し合う必要があるときには、子どもの考えを丁寧に聞いています。また、保育士は担当のクラスだけでなく、違うクラスの子どもの関係にも把握するよう努めています。 ・雨が降っていないければ必ず、園庭での遊びや園周辺の公園への散歩など、屋外活動を取り入れています。 ・園庭では、危険がないように乳児と幼児の使う場所を通路で分けて、走り回ることやリレー、ドッジボールができるようにしています。また、2階に上がる外階段にマットを敷いて、乳児の坂の登り下り遊びができるようにするなど、運動しながら遊べる環境作りをしています。

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内ではホールでの遊びや、ホールと保育室をつなげたスペースに跳び箱や平均台、はしごなどを用意するなどして、運動できる環境作りをしています。 ・年齢と発達に応じたりズム運動を取り入れています。
<p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。 (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。 (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。 (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。 (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。 (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラスでは食育会議（月1回）をして食育に関する取り組みについて調理員と保育士、主任で話し合っています。0歳児では離乳食会議（月1回）をして、個々の離乳食について調理員と保育士が話し合っています。 ・2歳児から野菜を洗って調理室に届けるなど食に親しむ機会を作り、幼児クラスでは芋ほりや野菜の収穫、野菜の皮むき、切干大根や白玉団子作りなど様々な食育活動を取り入れています。また、食事への関心がもてるように3歳児から食器の片付けを、4、5歳児クラスでは年齢に応じた当番活動を取り入れ、月2、3回自分で盛り付ける取り組みもしています。 ・献立は旬の食材を使った、季節感が感じられるものとなっています。12月にはケーキに添えるイチゴをサンタクロースに、ゼリーをもみの木の形にするなど、調理方法や盛り付けで子どもが喜び、食欲が湧くような工夫をしています。 ・園で栽培した花をテーブルに飾ったり、季節や行事、子どもの希望に合わせて音楽をかけたりして、楽しく食事ができるような雰囲気づくりをしています。また、おやつ時に一人ひとりの誕生日に合わせた誕生会をして、誕生日の子どものおやつには旗をたててメッセージを添えるなどして、お祝いの雰囲気が感じられるようにしています。 ・調理員は「安心、安全、おいしい」を大切にして食材や食器の安全性に配慮しています。例えば、野菜は必ず加熱処理をし、食器は強化磁器のものを使用しています。 ・給食は市立保育園共通の2週間サイクルの献立になっています。月2回同じ内容になるので、2回目の調理方法や盛り付けでは、1回目の子どもの喫食の状況をみて工夫・改善しています。 ・2人の調理員が毎日全クラスを巡回して、子どもと会話を交わしたり、援助したりしながら子どもたちの喫食状況を確認しています。 ・給食だよりの中に献立表を記載し、毎月末に次の月のものを発行しています。園だよりで調理室からのコーナーを設け（3ヶ月に1回程度）給食や調理方法などについて保護者に情報提供しています。 ・保護者にも園の食事に関心をもってもらえるように努めています。その日の給食とおやつのサンプルを玄関ホールに掲示し保護者に知らせ、送迎時に調理員は保護者と会話を交わして給食について伝え、希望でレシピを渡しています。また、人気のある献立やおやつの作

	<p>り方を給食だよりの裏面に掲載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園式の後や懇談会、保育参加の際に保護者が給食やおやつを試食できる機会を設けて、調理方法や食材についてなど園で配慮していることを伝えています。 ・乳幼児突然死症候群予防のために、うつぶせ寝にはせず、0、1歳児は5分ごとに睡眠中の呼吸を確認して記録しています。また、市や港南区の乳幼児突然死症候群についての研修を受けた保育士が、職員会議で報告するとともに研修記録を回覧して全職員に周知しています。 ・トイレトレーニングは1歳児ごろから保護者と話し合い、一人ひとりの子どもの発達状況に応じて無理なく対応しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理マニュアルや一人ひとりの健康台帳を用いて、子どもの健康状態を把握しています。 ・健康診断（年2回）と歯科健診（年1回）を実施し、一人ひとり記録しています。健診前に保護者から集めた質問への答えや、健診結果を受けての対応について、嘱託医と連携して保護者に伝えています。 ・1歳児から歯ブラシを用意し、食後の歯みがき指導を行っています。また、歯科医や歯科衛生士、看護師が、子どもの口内の衛生状況を確認し、歯みがきやうがい、手洗いの指導などを行っています。 ・感染症などへの対応に関するマニュアルがあり、登園基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応が明記されています。マニュアルは事務室と全保育室に置いてあり、職員がいつでも確認して保護者に伝えられるようにしています。入園時に配布する「保育園のご案内」に登園基準や感染症名と対応についてなどを記載しています。 ・感染症発生時には、発生状況を保育室に掲示し送迎時に口頭で伝えて、保護者に情報提供しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルがあり、マニュアルの見直しは年1回、職員参加のもと行っています。 ・保育室やトイレ、倉庫など随所にそれぞれの衛生管理マニュアルを掲示し、職員はマニュアルに基づいた管理と清掃をしています。清掃は担当ローテーション表やトイレ衛生管理チェック表を用いて行い、常に清潔な状態を保っています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- (5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。
- (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理に関するマニュアルとして、「安全保育マニュアル」「事故防止・事故対応マニュアル」などがあり、全職員に内部研修で周知しています。防災に関しては「港南区保育所班マニュアル」「保育所震災対策ガイドライン」を活用しています。
- ・保育室の棚は転倒防止シートを敷き、天袋は落下防止のための金具を取り付けて、地震などを想定した安全対策をしています。
- ・月1回、避難訓練を様々な想定のもと実施しています。また、職員間で不審者対応訓練を年7回行っています。
- ・港南区や外部の救急救命法研修を受けた職員が、研修後に内部研修を行い、全職員が救急救命法を身につけています。
- ・園庭の遊具や砂場、フェンスなど外回りは毎日、園舎内は週1回、職員が安全点検記録簿を使って点検しています。
- ・子どものケガについては軽症であっても、ケガをしたときの状況を保育日誌と長時間引継ぎノートに記録し、保護者には送迎時に口頭で必ず伝えていきます。
- ・外部からの侵入に対する対策として、緊急時には警察及び契約している警備会社に緊急通報する体制を整えています。散歩などの園外活動で職員は、警備会社の緊急通報端末を携帯しています。ただし、保護者アンケートでは門扉の開閉に関してなど不審者対応への不安の声が複数上がっているため、再度の安全確認と、保護者への対策周知、説明が望まれます。

- 3 人権の尊重



- (1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・保育士は子どもに急かすことや強要はせず、穏やかに分かりやすい言葉で話しています。子どもを呼ぶ時は呼びつけにはせず、名前に「ちゃん」「くん」「さん」をつけ、家庭での呼び方を取り入れるなどしています。
- ・子どもの自尊心を大切にすることを、港南区の人権研修や内部研修を通して全職員が認識しています。子どもの行動を禁止するのではなく、どうしたら良いかを伝え、できた事を褒めるように職員は心がけています。
- ・保育室に遊びコーナーや押入れの下、ダンボールと布で作られた家など、友だちや保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。
- ・子どもと一対一で話をする必要がある場合には、必要に応じて事務室や玄関ホールなどを利用しています。
- ・個人情報や保育中に撮る写真の扱いについては、保護者総会と懇談会で保護者に説明するとともに、年度初めに一人ひとりの保護者から了承を得ています。
- ・遊びや行事での役割、持ち物、順番、グループ分けなど性別では分けて、父親・母親の役割を固定的に捉えた話し方、表現はしていません。

- 4 保護者との交流・連携



- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6)保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。

- ・園の保育方針について、入園説明会や懇談会で保護者に説明する機会を設けています。具体的な事例を挙げて、分かりやすく伝えるよう努めています。
- ・保護者に対して事務所前に意見箱を設置するとともに、行事後にアンケートを実施して、保育方針が理解されているかどうか把握しています。
- ・クラスごとの懇談会は年2回実施しています。
- ・全クラスで、保護者の要望があるときには個別の面談をしています。
- ・保護者から相談があったときには、事務所を利用して落ち着いて話せるように配慮しています。相談を受けた職員は、園長や主任、他の職員から助言を受けています。
- ・日常の保育中の子どもたちの様子を写真に撮って廊下に掲示し、日頃の生き生きした様子を伝えるよう努めています。
- ・0～2歳児は連絡帳で、毎日丁寧に保護者と連絡を取り合っています。3～5歳児では必要に応じて個人の連絡ノートを使用しています。
- ・3～5歳児ではクラスノートを用いて日々の活動や子どもの様子を保護者に詳しく伝えていきます。また、その日読んだ絵本などを送迎時に保護者の目に入るところに置くなどしています。
- ・保護者個別の保育参加は随時受けていて、約7割の保護者の参加があります。23年度は保護者の「リズム参観」の機会(年4回)と祖父母の保育参加の機会(年2回)を設けました。
- ・保護者の自主的な活動として保護者会があり、活動のために保育室やホールなどの場所を提供しています。また、保護者会主催の写真の掲示販売(年4回)や劇団(年2回)、行事での子どもへのプレゼントなどの活動は、保護者と職員が連携して行っています。
- ・保護者総会に園長が出席しての意見交換や、担当保育士が参加しての保護者会との連携活動の打ち合わせなどを通して、保護者組織とは常にコミュニケーションをとっています。

評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <ul style="list-style-type: none"> (1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に訪れた人へのアンケートや、育児相談や地域住民と連携しての育児支援を行う中で、地域の子育て支援に関するニーズの把握に努めています。 ・園長が港南区地域子育てネットワーク協議会に参加し、地域での子育て支援について話し合っています。 ・子育て支援として、園庭開放(月～土)、絵本の貸し出し(月～金)、保育園プチ体験(年18回)、交流保育(年17回)、「絵本の読み聞かせ&ママ友サロン」(年10回)、プール開放(年8回)を実施しています。 ・地域ボランティア主催の公園遊び(月1回)や子育てサロン(月1回)に職員と園児が参加しています。また、港南中央地域ケアプラザ主催の子育て支援事業「ママのしゃべり場・こどものあそび場」

	<p>に保育士がボランティア講師として参加しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港南区主催の東部エリアの公民の保育園による子育て支援イベント「あそびにおいでよ！こどもフェスティバル・春」(年1回)に職員が参加協力しています。 ・地域の親子に向けて、園で保育士や調理員による育児講座(年6回)を、地域集会室で地域の保育園と合同で育児講座「おやこでエクササイズ」(年1回)を開催しています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談にしているか。</p> <p>(2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の親子を対象にした育児相談は随時実施しています。園長や育児支援担当職員、保育士が面接や電話で応じています。 ・地域に向けて設置した掲示板に、育児支援についての情報を掲示し、持ち帰り用のパンフレットを用意しています。また、育児講座の参加者に育児に関する情報を小さな冊子にして配布しています。 ・港南区役所や南部地域療育センター、医療機関など関係機関との連携は園長が担当し、日頃から連携体制を整えています。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に対する理解促進のために、運動会や生活発表会、七夕、正月遊びなどの園の行事に、地域の人を招待しています。(年9回) ・幼保小連携事業として、5歳児が小学校を訪れ給食体験や学校探検をしたり、入学式の翌日に保育士が小学校を訪問し1年生へ遊びの提供を行ったりして、入学後間もない子どもたちが安心して小学校生活を送るための援助を行っています。 ・他の幼稚園や保育園の子どもと散歩で出会った時には、挨拶や一緒に遊ぶなどしています。地域の3つの園の子どもと幼児クラスの子どもが、公園でダンスや遊びを一緒にして交流しています(月1回)。 ・地域の子育て支援ボランティアグループに、パラバルーンや玉入れ用具、跳び箱、フラフープ、水鉄砲など様々な用具やおもちゃを貸し出して活動の支援をしています。 ・園長が上大岡地区の地域防災訓練(年1回)に参加して、地域との友好的な関係作りをしています。 ・地域の公園愛護会の人と一緒に、子どもたちが花の苗植えや公園の清掃をしています。また、散歩で使う公園のごみ拾いを子どもたちがしています。 ・幼保小連携事業で幼児教育と小学校教育を滑らかにつなぐ接続の観点から、横浜市子ども青少年局による接続期研究を基に地域の幼稚園1園と民間保育園1園、小学校1校と共に、上大岡地区の「アプローチカリキュラム」を作成し、11月に全国保育研究大会で担当保育士が発表しました。

<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットを港南区役所に置いて、随時情報提供しています。また、園に関する情報は市のこども青少年局のホームページ『はぴねすぼっと』、港南区のホームページで見ることができます。 ・電話や来園での問い合わせに対しては、園長と主任が担当し、パンフレットと「保育園のご案内」「上大岡東保育園のしおり」に基づいて説明しています。 ・園の見学については、月4回程度見学日を設定しています。見学希望者の都合に応じて、個別にも対応しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生の体験学習とボランティアを、多く受け入れています。また、お話し会や礼儀作法、外国人の保護者への通訳などを、ボランティアが協力しています。 ・ボランティアと保育実習生の受け入れと育成については主任が担当し、一人ひとりの活動記録を整備しています。 ・ボランティアの「礼儀正しい挨拶などを子どもに伝えたい」との意見から、丁寧なお辞儀や、日頃の挙手の仕方などを学び、それを日常の保育に取り入れています。 ・保育実習では、保育実習生の希望を聞いてクラスや活動内容を決め、行事にも参加してもらうなど、有意義なものとなるよう実習計画を立てています。 ・中学生の家庭科の授業の一環で3年生の全クラスがそれぞれ1日ずつ来園していて、中学生が乳幼児に対する理解を深められる機会となっています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市人材育成ビジョン」「港南区保育所人材育成事業」に基づき、人材育成計画が策定されています。 ・年度始めに園長が職員に事業計画書（行動計画書）を見せ、それに基づき園長面談において個々の職員が年度目標を設定し、具体的な取り組み事項を自己申告書に記載しています。中間期及び年度末において振り返り面談を行い、達成度の評価を行っています。 ・園内研修として、職員会議やミーティングにおいて、外部研修に参加した職員が報告を行い、職員に周知しています。 ・職員は、港南区や横浜市こども青少年局、白峰学園保育センター、南部地域療育センター等の研修に積極的に参加しています。外部研修に参加した職員は、研修報告書を提出するとともに、職員会議やミーティングで報告しています。 ・月2回のアルバイト会議、福祉員会議において、情報共有を図るとともに、内部研修を実施しています。港南区主催の福祉員研修、アルバイト研修に参加しているほか、希望すればその他の研修にも参加することもできます。

<p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・港南区の人材育成計画に基づいて各種の研修が年間を通して組み立てられています。港南区のアルバイト研修、福祉員研修での事例を取り入れるなど、事例をもとに業務改善に向け、積極的に取り組む姿勢があります。 ・年間指導計画書、月間指導計画書、保育日誌には一人ひとりが自己の実践の振り返りができるよう、自己評価を記載する欄が設けられています。また、異年齢交流や行事などについても、振り返りを行い記録を取っています。振り返りは計画で意図したねらいと関連付けて行われていて、子どもの育ちや意欲、取り組む課程などが丁寧に記載されており、その後の改善につなげています。 ・年度始めの事業計画書（行動計画書）について、年度末に保育所としての自己評価を行っています。ただし、自己評価を公表するまでには至っていません。来年度よりは横浜市の様式を用い公表を行う予定です。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市人材育成ビジョンに経験・能力や習熟度に応じた期待水準が明文化されています。また、園長が個々の職員に対し、年度末に来年度に向け期待したいことを文章にて示しています。 ・業務分担を明確化することにより、必要な権限の委譲を行っています。 ・園長は年3回の職員面談の際に、職員の満足度・要望を把握しています。非常勤職員に対しては、年2回の園長面談のほか、アルバイト会議、福祉員会議において、主任が要望、意見を聞いています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市職員行動基準ハンドブック」「新公立保育所アクションプラン」に組織および職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化されていて、職員に周知しています。また、園長が毎年コンプライアンス研修を受講し、園内研修にて確認、周知しています。 ・ごみの分別を行うとともに、空き容器を教材として利用するなど、ごみの減量化、リサイクルに努めています。給食の生ごみを肥料としてリサイクルしています。 ・資源循環局による出前講座で、子どもたちはリサイクルについて学んだり、紙漉きを体験したりしています。 ・電気や水道の近くに、省エネや節水の表示をして、意識づけしています。暖、冷房は省エネ温度に設定するほか、こまめにスイッチを消すなど、省エネに努めています。 ・夏場にゴーヤによるグリーンカーテンを設置する、地域の公園愛護会の人たちと一緒に子どもたちが公園にひまわりの苗を植えるなど、緑化活動を行っています。

- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- (1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。
- (2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。
- (3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

- ・ 保育理念、保育方針、園目標、保育姿勢を玄関ホール、事務室、各保育室に掲示するとともに、職員会議、ミーティングにおいて保育理念、保育方針について話し合い、確認しています。
- ・ 重要な意思決定にあたっては、園長は保護者と継続的に意見交換しています。具体例としては、卒業式について保護者代表と話し合いを重ね、やり方を変更した事例などがあります。
- ・ 行事の実行委員会や食育会議、第三者評価など職種を超えてチームを編成し取り組んでいます。また、港南区主催の保育士会議において、保育士は他園の職員と意見交換しています。
- ・ 港南区の保育所人材育成事業の主任研修において、スーパーバイズでできる主任クラスを計画的に育成しています。
- ・ 主任は個々の職員の業務状況を把握し、能力や経験に合わせた助言、指導を行っています。また、主任は、職員会議、アルバイト会議、福祉員会議などの会議へ出席し、職員の意見、要望などを把握し、円滑に仕事に取り組めるよう配慮しています。

- 3 効率的な運営



- (1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。
- (2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- ・ 園長は園長会議等で事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。
- ・ 重要な改善課題は職員会議で話し合いを持ち、重点課題として設定されています。
- ・ 要支援家庭や待機児童の増加等の地域のニーズに対応するため、子育て支援事業を強化したり、定員外入所の受け入れを行ったりなど、運営面での重要な改善課題について保育所全体で取り組んでいます。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、 実施期間 2011年11月1日～11月15日
- 2、 実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、 回収率 71.2%（73枚配付、52枚回収）
- 4、 所属クラス 0歳児クラス...6人、1歳児クラス...7人、2歳児クラス...6人、3歳児クラス...10人、
4歳児クラス...13人、5歳児クラス...10人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。
文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です。

- ・保育目標や保育方針については、約8割の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答え、そのうちの97.6%の保護者が「賛同できる」「まあ賛同できる」と回答しています。園の方針は大部分の保護者に伝わっていて、賛同を得ていることがわかります。
- ・問2から問7の全ての設問で満足度が高く、特に、「入園時の状況」日常の保育「遊び」「生活」「園と保護者との連携・交流」「職員の対応」の満足度が高くなっています。「遊び」「園と保護者との連携・交流」についての設問では全項目が90%以上の満足度を示しています。また、「お子さんの体調への気配り」「園の行事の開催日や時間帯への配慮」「あなたのお子さんが大切にされているか」についての項目では、100%の満足度を示しています。
- ・「見学の受け入れ」「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」「アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮」では、“見学していないので”などの理由で「その他」「無回答」がありますが、「どちらかという不満」「不満」の回答はありません。
- ・“(入園時に)とても丁寧に説明して頂き、不安解消しました”“年齢に合わせて遊びを工夫して下さっている”“子どもの発想を大事にしてくれ、伸ばしてくれます”“愛情を持って子どもを大切に下さる”“小さなケガやケンカも細かく引き継ぎされて伝達されています。”“意見や要望にすぐに対応してください。とても真摯さを感じます”などの声が、多く寄せられています。保護者が園の保育内容や職員との関係に満足し、信頼している様子が伝わります。
- ・一方、「どちらかといえば不満」「不満」が10%以上ある項目は、「年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているか」「昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか」「施設設備」「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」となっています。また、少数ではありますが“昼寝の時間が少し長い”“先生によって対応が違う”といった声もあります。

まとめ

総合的な評価では、保護者の満足度は100%となっていて、園が保護者から高い評価と支持を得ていることが伝わります。自由意見欄には“この園でよかったと本当に思います”“震災の際のご対応は素晴らしかったです！頂いたメールを読んで目頭があつくなりました”“すごく大切に見てもらっているので、親としても安心して仕事をしています”“本当に居心地のいい保育園です。子ども達もイキイキしていると思います”など、信頼と感謝の声が多数ありました。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

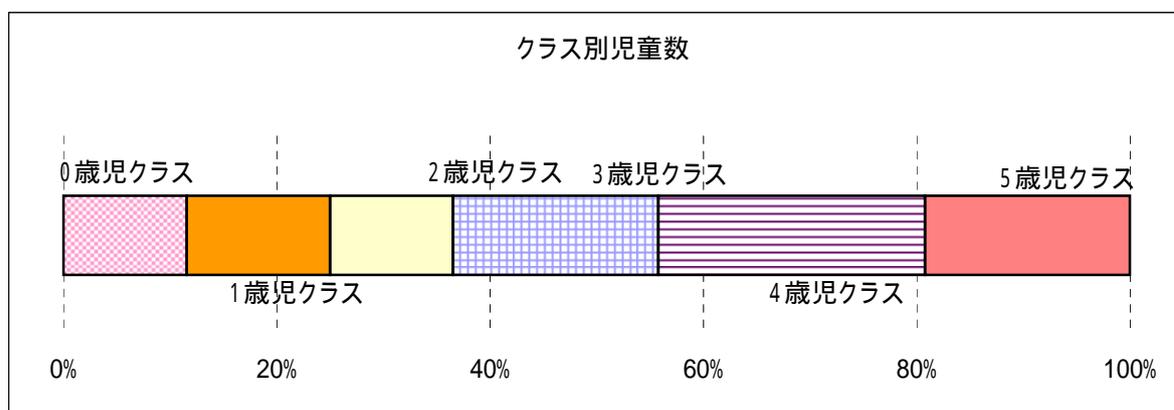
実施期間： 2011年11月1日～11月15日

回収率： 71.2%（回収52枚 / 配布73枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
52	6	7	6	10	13	10	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



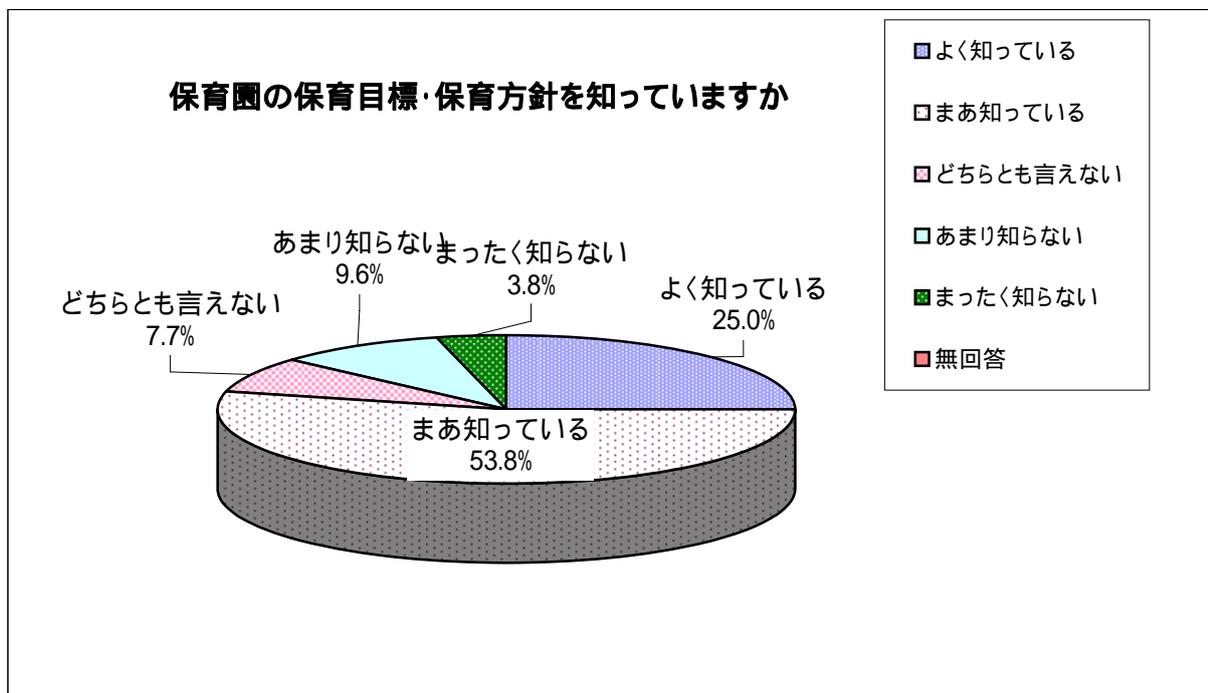
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	25.0	53.8	7.7	9.6	3.8	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

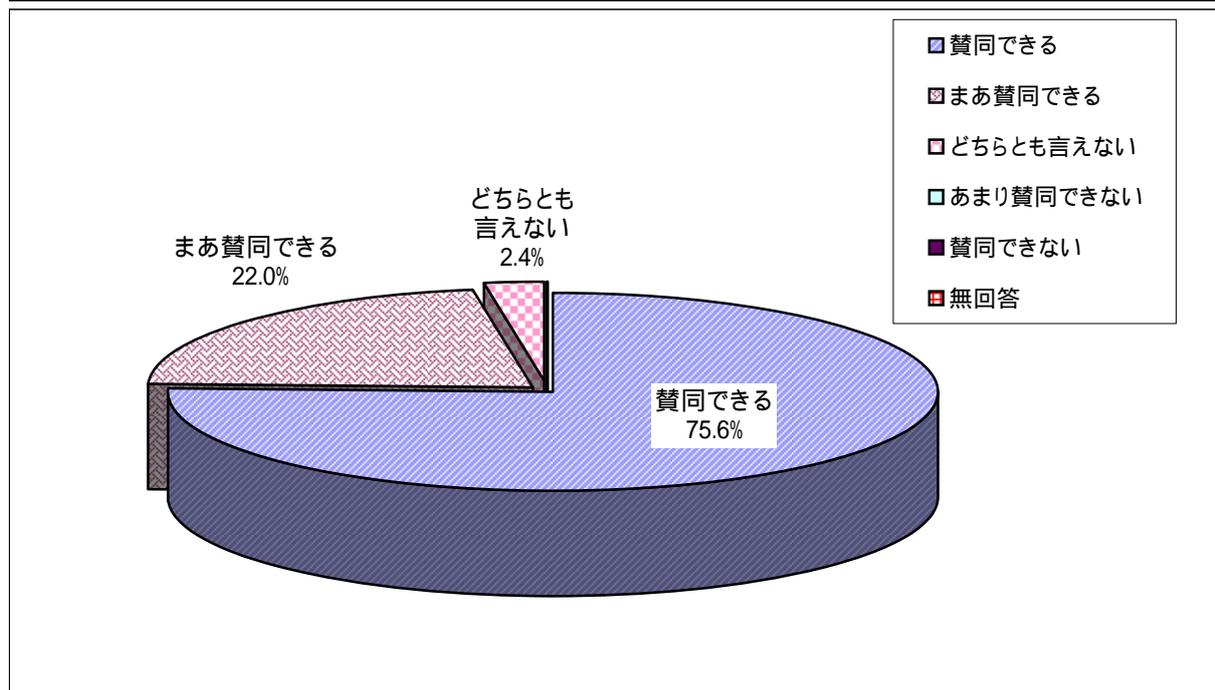


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	75.6	22.0	2.4	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

問2 入園時の状況について

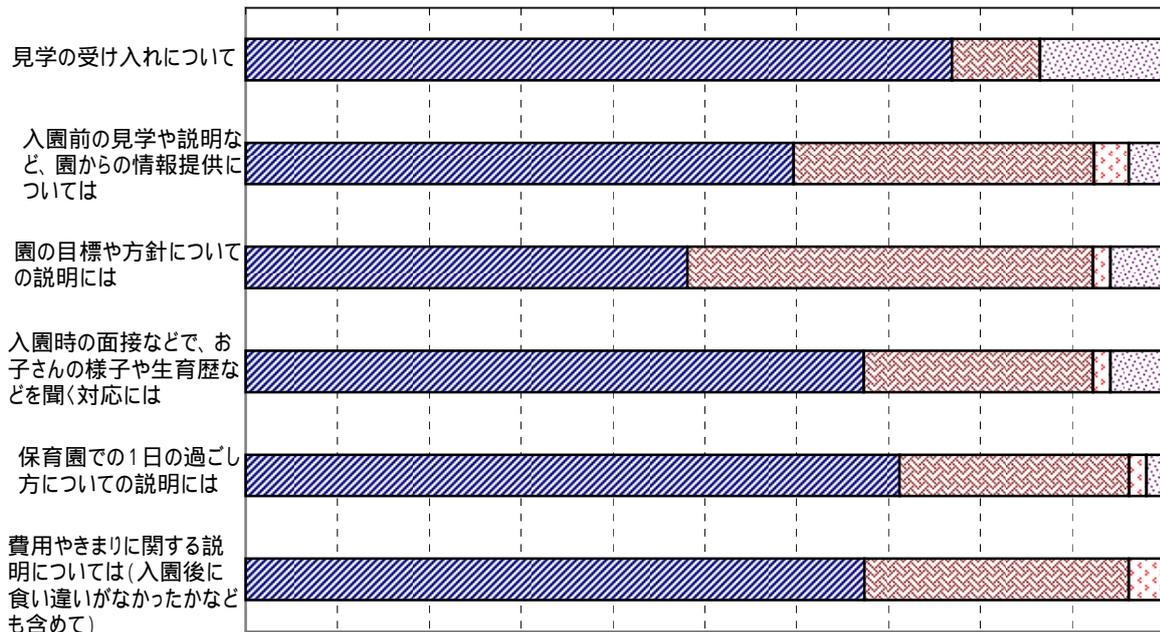
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	76.9	9.6	0.0	0.0	13.5	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	59.6	32.7	3.8	0.0	3.8	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	48.1	44.2	1.9	0.0	5.8	0.0	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	67.3	25.0	1.9	0.0	5.8	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	71.2	25.0	1.9	0.0	1.9	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	67.3	28.8	3.8	0.0	0.0	0.0	100

入園時の状況について

満足
 どちらかといえば満足
 どちらかといえば不満
 不満
 その他
 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問3 年間の計画について

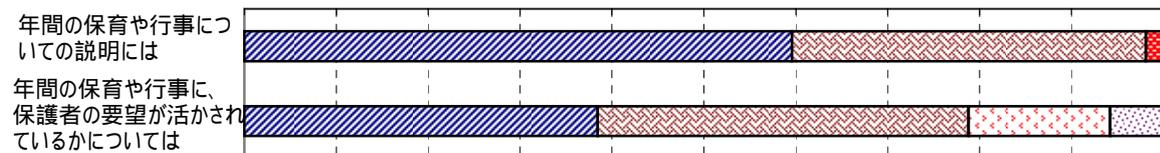
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	59.6	38.5	0.0	1.9	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	38.5	40.4	15.4	0.0	5.8	0.0	100

年間の計画について

満足
 どちらかといえば満足
 どちらかといえば不満
 不満
 その他
 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

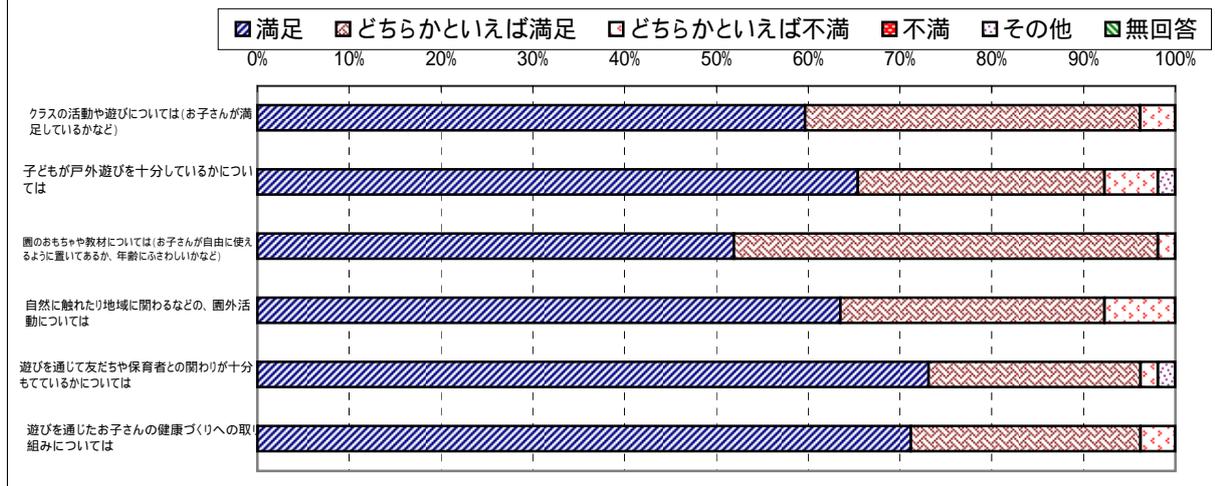


問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	59.6	36.5	3.8	0.0	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	65.4	26.9	5.8	0.0	1.9	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	51.9	46.2	1.9	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	63.5	28.8	7.7	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	73.1	23.1	1.9	0.0	1.9	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	71.2	25.0	3.8	0.0	0.0	0.0	100

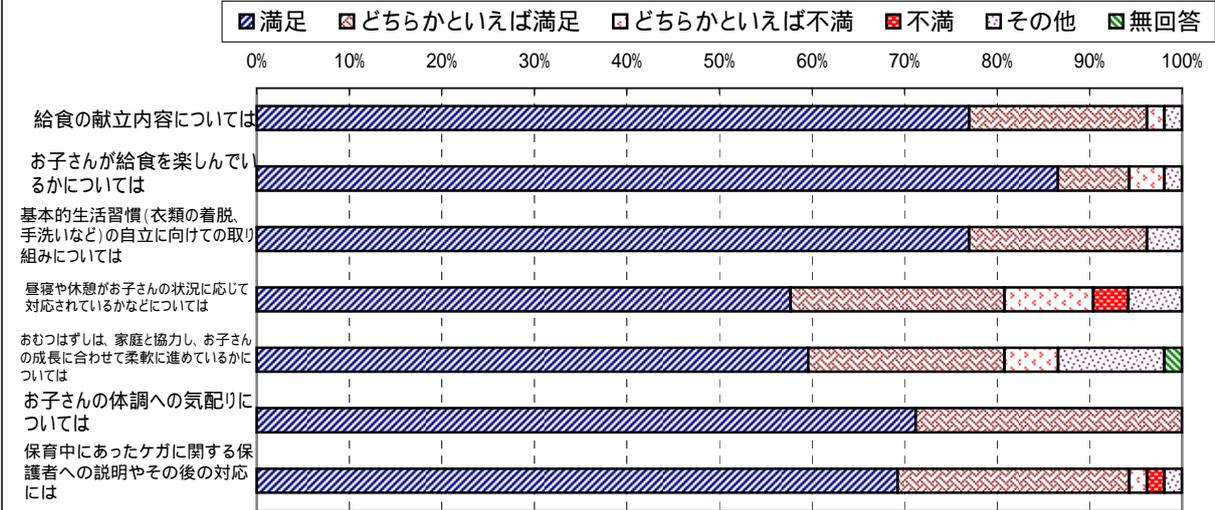
日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	76.9	19.2	1.9	0.0	1.9	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	86.5	7.7	3.8	0.0	1.9	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	76.9	19.2	0.0	0.0	3.8	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.7	23.1	9.6	3.8	5.8	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	59.6	21.2	5.8	0.0	11.5	1.9	100
お子さんの体調への気配りについては	71.2	28.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	69.2	25.0	1.9	1.9	1.9	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

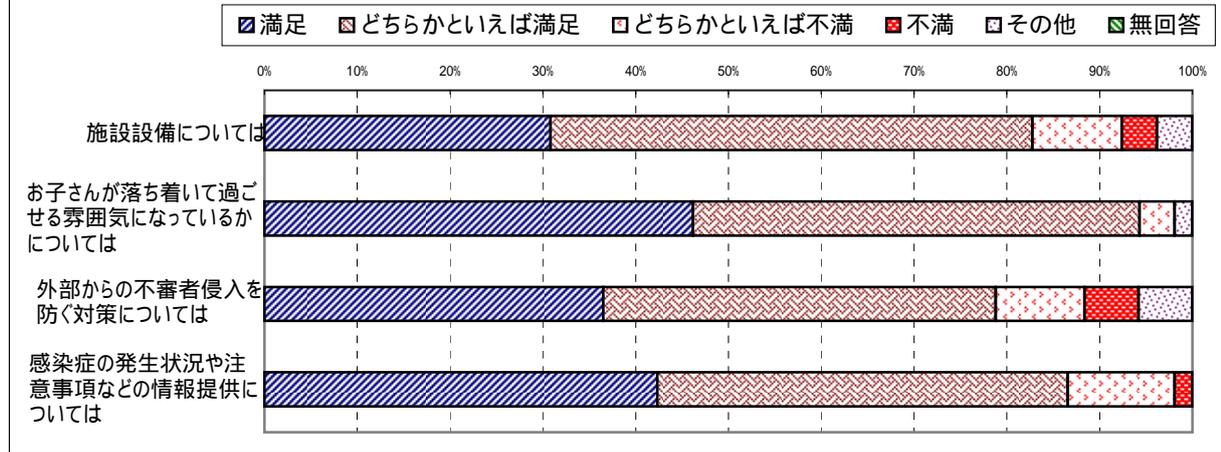


問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	30.8	51.9	9.6	3.8	3.8	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	46.2	48.1	3.8	0.0	1.9	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	36.5	42.3	9.6	5.8	5.8	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	42.3	44.2	11.5	1.9	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

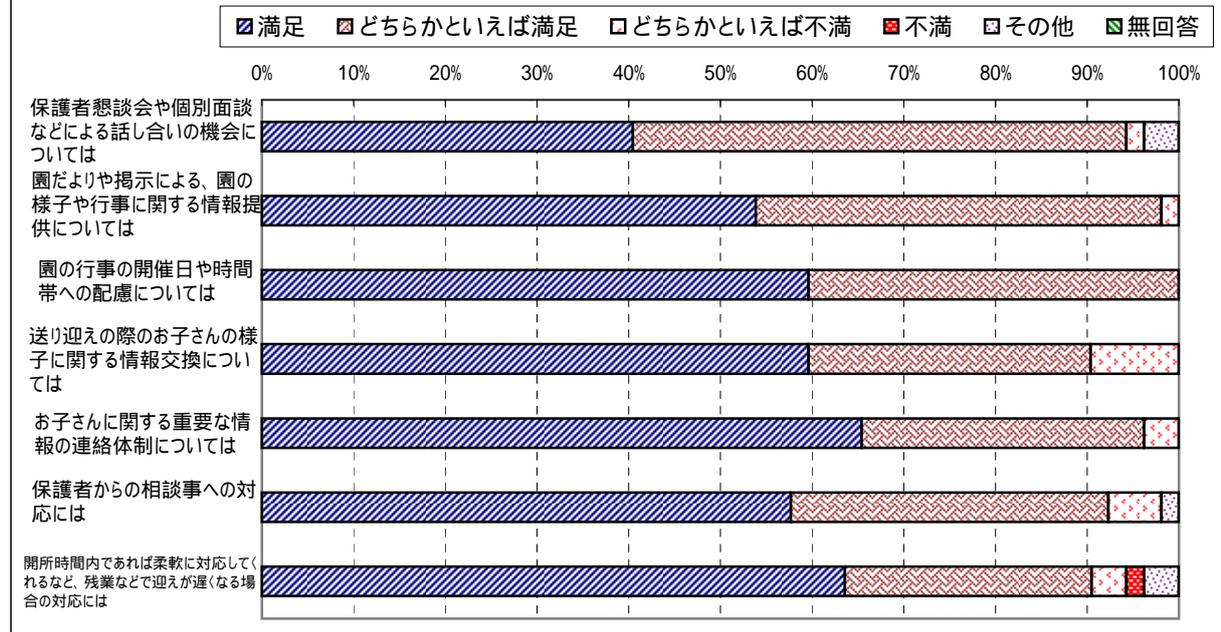


問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	40.4	53.8	1.9	0.0	3.8	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	53.8	44.2	1.9	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	59.6	40.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	59.6	30.8	9.6	0.0	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	65.4	30.8	3.8	0.0	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	57.7	34.6	5.8	0.0	1.9	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	63.5	26.9	3.8	1.9	3.8	0.0	100

園と保護者との連携・交流について



問7 職員の対応について

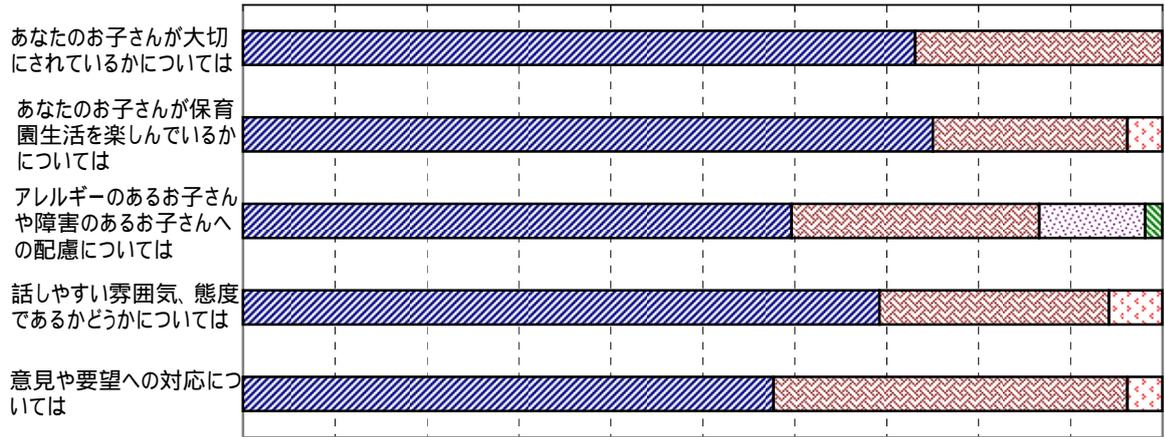
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	73.1	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	75.0	21.2	3.8	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	59.6	26.9	0.0	0.0	11.5	1.9	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	69.2	25.0	5.8	0.0	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	57.7	38.5	3.8	0.0	0.0	0.0	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

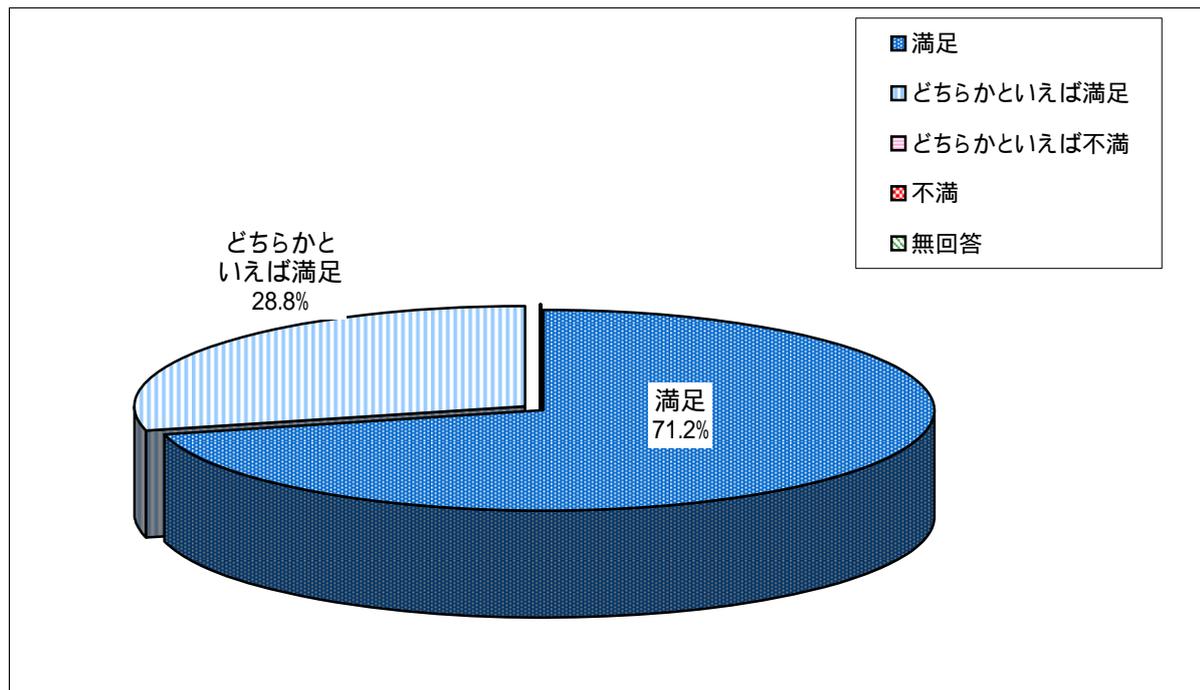
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	71.2	28.8	0.0	0.0	0.0	100



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 12月21日（水）9：00～18：00 1月6日（金）8：30～18：00

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0歳児クラス（りす組）

朝の時間子どもたちは、ダンボールの羽子板で天井から下げられた紙の羽をついたり、畳のコーナーで人形やままごと遊びをしたりしています。一人がお手玉をしてもらいたそうにすると、保育士は歌いながらして見せます。他の子どもたちも集まって、どちらの手にお手玉が入っているか当てる遊びをしました。

おやつを食べ終わり、全員で音楽に合わせて体操した後、一人ずつオムツを替えてもらい、園庭に出ます。室内遊びを続けたい子どもは、外に出たくなるまで保育士は待っていました。

子どもたちは園庭を嬉しそうにゆっくり歩いたり、元気良く走り回ったり、砂遊びをしたり、保育士に抱っこしてもらったりしています。1、2歳児も園庭に出ていて、子どもたちは自然に交わって遊んでいます。中には、1、2歳児の「マットの滑り台遊び」に入れてもらう子どももいました。

食事では二人はベビーチェアを使い、他の子どもはテーブルについてイスに座って食べます。離乳食は、手づかみやスプーンを使って自分で食べたり、保育士に食べさせてもらったりして、それぞれのペースで食べています。「おいしいよ」「もぐもぐ」「ゆっくりよ」などと保育士は声をかけています。様子を見に来た二人の調理員は、子どもたちの名前を呼びながら話しかけるなどしていました。

オムツ替えでは、保育士は一人ひとりの様子を見て対応し、子どもが嫌がる時は少し時間を置きます。月齢の高い子どもにはズボンの足を広げて援助しながら、自分で履いてみることを促すなど、していました。

1、2歳児クラス（うさぎ組）

うさぎ組は1、2歳児合同で保育室を使い、活動はそれぞれの年齢に併せて行っています。

朝のおやつの前に、1歳児は保育士と手洗いをし、2歳児はトイレに行きます。トイレでは、保育士一人が援助し、他の保育士がトイレに行かない子どもに「行ったら出るかもしれないよ」「君はまだ出ないんだね」など一人ひとりの様子を見て対応しています。ブロック遊びをしていた子どもは「これ触らないで」と言って机の上に置いてからトイレに向かいました。

おやつ後は、1、2歳児一緒に散歩です。1歳児の準備ができるまで、2歳児は室内で遊び、トイレを済ませます。園庭に出て、できるだけ1歳児と2歳児で手をつないで並び、出発です。前日に子どもたちが絵を描いた年賀状を出しにポストまで行き、戻るコースです。景色を眺めながらゆっくり歩き、車が通る時や子どもが何か見たいものがある時には、全員が止まります。子どもたちは「あれ！」「どこー」「駐車場」など、よくおしゃべりしています。ポストにつくと、保育士が家に年賀状が届くことを伝え、一枚ずつ絵を見せます。子どもたちは静かに保育士の話を聞き、じっと見つめていました。

散歩で出会う人々と、子どもたちは挨拶を交わしています。「どっちから来たの」と話しかけられて、身振りで答える子どももいます。帰る途中に「公園は？」とみんなが口々に言うと保育士が話し合い、少しコースを変えて公園を通りました。

散歩から戻ると、1歳児は足を洗ってもらって保育室に入り、2歳児は園庭遊びをしました。

給食の後は歯みがき用の台に座って、保育士に指導されながら1歳児も歯みがきをしていました。

3歳児クラス（こあら組）

朝の時間は、ブロックやカルタ、電車や恐竜のおもちゃで遊んだり、テーブルで絵を描いたり、はさみやのりを使って切り貼りをしたりしています。子どもたちは「これ作ったの？」「すごい」「入れて」「いいよ」などおしゃべりしながら、夢中になって遊んでいます。保育士は遊びに入って手伝いをし、子どもが何かで

きた時にはよく褒めています。

おもちゃを片付けて、テーブルにつきイスを保育士に向けて座り、朝の会です。子どもたちはざわついてよそ見もしていますが、保育士が声を小さくすると徐々に静かになり、前を向き、落ち着いて話を聞きました。

その後トイレを済ませ、園庭に出ます。ボール遊びや鬼ごっこ、砂遊びなどをしています。子ども同士の言い争いでは、ほとんどが自分たちで解決しています。言い争いの後に抱き合って仲直りし、すぐに一緒に走り出す子どもたちもいます。保育士は必要に応じて危険がないよう間に入って代弁し、気持ちを言葉で表現するよう伝えていきます。また、してはいけない事は、いけない理由を分かりやすく子どもに伝えます。

園庭遊びのあと、幼児クラス合同のリズム運動がありました。クラスごとに、ピアノと歌に合わせて元気に体を動かします。子どもたちは4、5歳児の運動を憧れのまなざしでじっと見つめていました。

保育室に戻り、生活グループの名前を決めるために、まず何の種類のものにするか話し合いました。多数決では「おかし」の名前が良いという子どもが多くいます。保育士は「おかし」以外が良いと答えた子ども一人ひとりから、気持ちを丁寧に聞いていました。

4歳児クラス(ばんだ組)

登園すると子どもたちは自分で荷物を整理し、手を洗ってうがいをしてから遊びます。すぐろくやままごと遊びなどを、おしゃべりしながら楽しそうにしています。片づけ後、手遊びをしてから朝の会です。「たまには立って歌おうよ」と言う子どもの声に応じて、みんなで立って元気に歌を歌いました。この日は出席人数に合わせて保育士がグループ分けを変更します。当番はどうするか子どもたちが話し合い、じゃんけんで決めることにしました。

園庭遊びでは、2つのグループに分かれてのタッチリレーが始まりました。子どもたちは順に笑顔で元気に走っています。他にもジャングルジムで遊んだり、プランターの野菜に水をやったり、リレーからはずれたりまた戻ったりして、子どもたちは自由に遊んでいました。保育室に入る前には、順に足を洗っています。

給食の準備では当番がテーブルを拭きます。配膳時に苦手なものがある時には、子どもは右手を挙げて保育士を待ちます。保育士は子どもに何をどのくらい減らしたいのか聞き、対応しています。食事の前に保育士が「今日のきらきらのお友だち」として二人の名前を挙げて褒め、子どもたちに二人の行いと良い理由を伝えました。「どうぞ召し上がれ」「いただきます」で食べ始めます。保育士や巡回している調理員は「おいしい?」「とても良い姿勢」など子どもたちに声をかけます。子どもたちは会話を楽しみながら食事し、ほとんどの子どもが残さず食べました。目安の時間に食べ終わらない子どもが数人いますが、急がされることはなく、落ち着いて食べていました。

5歳児クラス(きりん組)

朝、園庭で子どもたちは、ドッジボールや砂遊びをしています。ドッジボールではルールを守り、声をだしながら元気よく試合をしています。保育士は審判をしながら、砂遊びをしているグループの中にも時々入っています。

片付けて保育室に入り、手洗いとうがいをします。朝の会では保育士のオルガンに合わせ、大きな声で歌います。「お天気は?」と保育士が聞くと、子どもたちから「寒い」「晴れが隠れてるけど曇りではない」などの声が上がります。点呼では右手をまっすぐに挙げています。次に「一人休みだから何人?」と聞くと、子どもたちは考えて答えています。

1日目は5歳児のみで、2日目は幼児クラス合同で、ホールでリズム運動がありました。子どもたちは上手に体を動かしていて、ブリッジは全員ができています。3、4歳児の運動に先導役として一人5歳児が加わることもあり、選ばれた子どもは嬉しそうに、しっかりと先導しています。リズム後に、1日目は曲に併せたジャンケンゲームなどをし、2日目は5歳児が1、2人ずつ前を出て、けん玉や羽子板、こま回し、メンコを披露しました。

保育室に戻り、大掃除です。子どもたちはパジャマのかご、ロッカー、イスを拭き、道具箱を整理します。保育士が雑巾を配り、拭けない物を伝えます。子どもたちは雑巾を濡らして絞り、棚などを拭きます。子どもたちはやる気満々な様子で、壁やオルガン、廊下も拭き、乳児の保育室まで拭きに行く子どももいました。

まとめ

- ・子どもたちはのびのびとしていて、活発です。室内でも屋外でも、自分の好きな遊びに夢中になって、楽しそうに過ごしています。保育士の話を聞く時などには、静かに集中することができます。
- ・年上の子どもへの憧れや年下の子どもへの優しい気持ちが、日々の異年齢の関わりの中から育まれているのが分かります。
- ・障がいのある子どもとその他の子どもは自然に関わっていて、一緒に遊ぶなどしています。
- ・保育士の子どもへの語り口は穏やかで、子どもと話し合う時には丁寧に子どもの気持ちを汲み取るようにしています。
- ・職員は衛生管理にきめ細やかに配慮していて、屋外活動後には足洗いをし、手洗いや歯みがきの指導では、乳児からしっかりと伝えています。



事業者コメント



第三者評価受審を「保育の質の向上」の好機ととらえ園内研修として全職員で取り組んでまいりました。

園運営を様々な角度から検証していく中で、保育園の役割がより明確となり、社会的責任の重さを痛感しております。利用者アンケートでは保護者の皆様に概ねご満足いただいております。一方で率直なご意見・ご要望をいただき、気づきや課題もございました。その一つひとつを真摯に受け止め、評価いただいている点は維持・継続に努め、課題については話し合い、改善に向けて歩んでまいりたいと思います。

今回の受審に関わってくださった全ての方に心より感謝申し上げます。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hyouka/>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 第2事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL : 045-222-6501

FAX : 045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
